



CO・OP火災共済等に関する研修交流会を開催しました

2026年3月6日（金）に、こくみん共済 coop 千葉推進本部議室でCO・OP火災共済等に関する研修交流会を開催し、こくみん共済 coop から7名、会員生協から5名、千葉県生協連から2名、合計14名が参加しました。



全体の様子

はじめに、こくみん共済 coop 千葉推進本部 石井事務局長より、日頃の推進活動へのお礼と2025年度推進活動の特徴についての報告がありました。

続いて、こくみん共済 coop 関東統括本部円尾課長より、ありがたい声報告集を元に2023年度に共済金を受け取られた方からのアンケート結果とありがたい声が紹介されました。

次に、こくみん共済 coop 関東統括本部片山担当より、千葉県内生協におけるCO・OP火災共済・自然災害共済、マイカー共済について2025年度の取り組み状況と2026年度の推進計画について報告がありました。火災共済の自然災害共済の付帯率について、2024年1月時点から2025年12月を比較すると各生協で増加していることが報告されました。また、尾花担当より、マイカー共済の制度説明と「7才の交通安全プロジェクト」について説明がありました。小学校にあまり行動範囲が広がる7歳児は歩行中の交通事故による死傷者数が突出して多い傾向があることから、未来ある子どもたちを交通事故から守り、共済商品の利用を社会課題の解決につなげるため、見積りの件数に応じて横断旗を全国の小学校等に寄贈していることが報告されました。

会員生協からは、なのはな生協の河内課長、パルシステム千葉の川上副主任、コープデリ共済センターの伊藤課長よりそれぞれ2025年度の活動報告がありました。報告後、質問や意見交換をおこないました。

最後に千葉県生協連尼崎専務理事より、今後も連携を強化し、もしもの時に無保障となる組合員が発生しないよう取り組みたいと閉会の挨拶があり、終了しました。

以上